

平成30年度 事業報告書

自：平成30年 4月 1日
至：平成31年 3月31日

宮城県仙台市泉区上谷刈字向原3番地の30

社会福祉法人 やまとみらい福社会
理事長 早坂 了悦

本部 事業実績報告

社会福祉法人やまとみらい福祉会は、法人開設より 8 期を終えました。社会福祉を標榜する法人として地域の福祉ニーズに果敢に挑戦を繰り返しておりますが、何より利用者、家族、職員、地域にとって望まれるサービスや支援、法人の在り方を常に念頭に置き事業実施に努めて参りました。平成 30 年度は新たに泉区松森において地域密着型特別養護老人ホーム南光台東を無事開所し、また同エリアに仙台市の認可保育事業開所に対するエントリーを行い、整備に係る事業者として選定されました。また法人の継続的運営、及び職員の確保も念頭に収益物件として賃貸物件を購入し持続可能な事業の継続を引き続き行って参る所存です。

[社会福祉法人やまとみらい福祉会運営事業]

平成 30 年度に実施した運営事業は以下のとおり。

- ・ 第 1 種社会福祉事業
 - 特別養護老人ホーム抱優館八乙女(長期入所事業)
 - 地域密着型特別養護老人ホーム抱優館南光台東(長期入所事業)
- ・ 第 2 種社会福祉事業
 - 特別養護老人ホーム抱優館八乙女((介護予防)短期入所生活介護事業)
 - 地域密着型特別養護老人ホーム抱優館南光台東((介護予防)短期入所生活介護事業)
 - やまとみらい八乙女保育園(小規模保育事業)
 - 就労移行支援事業所オルタ八乙女(障害福祉サービス)
- ・ 公益事業
 - ケアプランセンター抱優(居宅介護支援事業)
- ・ 収益事業
 - 不動産賃貸業

[各種外部研修・行政等主催研修参加状況]

日時	研修名	参加者	主催
H30. 4. 23	社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー	本部職員	全国社会福祉法人経営者協議会
H30. 6. 28	平成 30 年度仙台市老人福祉施設協議会泉支部職員防災研修会	本部職員	仙台市老人福祉施設協議会
H30. 6. 29	平成 30 年度宮城県社会福祉法人経営者協議会	総務課長	宮城県社会福祉法人経営者協議会
H30. 8. 29	平成 30 年度 都道府県経営協セミナー(前期)	総務課長	宮城県社会福祉法人経営者協議会

H30. 9. 6	次世代の介護経営を考えるシンポジウム	総務課長	宮城県保健福祉部長寿社会政策課
H30. 9. 13	平成 30 年度仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業 会計担当職員研修②	本部職員	仙台市社会福祉協議会
H30. 12. 14	介護労働者雇用管理責任者講習（安全衛生・健康管理・人事管理）	本部職員	株式会社ランゲート
H30. 12. 20	みやぎの農福連携推進モデル事業 現地視察会	本部職員	仙台市老人福祉施設協議会
H31. 1. 18	介護労働者雇用管理責任者講習（賃金管理・労働時間管理）	本部職員	株式会社ランゲート
H31. 1. 25	公正採用選考人権啓発推進員等研修	本部職員	宮城労働局
H31. 2. 7	リコージャパンイノベーション SENDAI	総務係長	リコー
H31. 3. 14	介護労働者雇用管理責任者講習（労働時間管理）	本部職員	株式会社ランゲート

特別養護老人ホーム抱優館八乙女 事業実績報告

特別養護老人ホーム抱優館八乙女は、地域に根ざした『挑戦型社会福祉法人』として平成 29 年度に引き続き、地域に望まれる施設運営を念頭に業務を進めることと、介護の質を上げることへのチャレンジを基本方針として業務執行に努めました。

人事評価制度を含めた内部統制の確立について、根拠ある評価制度となるよう次年度への継続課題とし今年度内の確立を引き続き目指します。

入居者の安全確保は、感染症及び食中毒等について、厨房委託業者との連携、全職員参加の予防研修等により食中毒罹患者はゼロでした。その他感染症（インフルエンザ）は、長期、ショートとも単発に留まり、持ち込みの予防対策として、来館者に対するうがい、手洗い、マスク着用の推進、職員の体調不良者に対する対応等、感染症予防に自覚的取組みをさらに進めて行きます。

嘱託医に関しては、入居者の健康管理体制及び看取り体制も支障なく執行できています。30 年度に施設退所された方は 19 名、内看取り介護同意の方は 14 名でした。認知症の入居の方への精神科クリニック医師による月 2 回の診察・指導に加え、平成 30 年度はお二人の歯科医指導による口腔ケアの取組みを行っております。

平成 30 年度の利用実績

[入居者の要介護度別年齢]

	要介護 1	2	3	4	5	平均	
	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	介護度	年齢
男	—	—	81.82	88.62	86.29	4.1	86.23
女	—	76.08	91.40	89.41	88.53	3.9	89.26
計	—	76.08	89.64	89.24	88.07	4.0	88.65

[特別養護老人ホーム抱優館八乙女利用実績] 全 80 室 平均入居者 77.9 人 稼働率 97.45%

月	平均入居者数	稼働率	月	平均入居者数	稼働率
4 月	78.8	98.5%	10 月	78.7	98.4%
5 月	77.9	97.3%	11 月	77.4	96.7%
6 月	80.0	100.0%	12 月	75.7	94.6%
7 月	78.7	98.3%	1 月	75.2	94.0%
8 月	80.0	99.9%	2 月	77.0	96.2%
9 月	77.5	96.8%	3 月	79.0	98.8%

(介護予防) 短期入所生活介護抱優館八乙女事業実績報告

利用者像の多様化と重度化が進行し、入居者に対応した介護職員のスキルアップとご利用者の希望に即ミスなく対応できる体制が強く求められました。短期入所生活介護部門(ショートステイ)は、在宅の方が利用対象であり、地域のケアマネージャーなどとの連携が課題です。そのことを念頭に、「在宅支援」と位置付け、抱優館八乙女が地域福祉拠点として、地域包括ケアに果たす役割を担うこととしました。結果、平均稼働率は、目標の87%に対し、84.9%となりました。こうしたことは、今後の事業展望を明るくする職員の成長を背景に、地域に信頼されるショートステイを構築したいと思います。

[(介護予防) 短期入所生活介護抱優館八乙女利用実績] 全20室

平均月延べ利用者数 516人 稼働率 84.9%

月	延べ利用者数	稼働率	月	延べ利用者数	稼働率
4月	516	86.0%	10月	517	83.4%
5月	519	83.7%	11月	461	76.8%
6月	489	81.5%	12月	534	86.1%
7月	473	76.3%	1月	565	91.1%
8月	521	84.0%	2月	494	88.2%
9月	524	87.3%	3月	584	94.1%

抱優館八乙女サービス提供実施状況

住まいづくり：各ユニットにおける生活環境の適正化に努め、ふれあい福祉作業による清掃に加え、ユニット内外の取組みで環境整備に取組み、厚みのあるケア体制作りを進めることができました。また安全衛生委員会を中心に4S活動等環境チェックを実施し、環境美化に取組みました。また事務職員の当番制でのトイレや給湯室の定期清掃、マスク・手指消毒剤等の点検・整備に努め、環境美化と感染症予防に取組みました。

安全・安心な美味しい食の提供：産直米・野菜と日清医療食品の協力、管理栄養士のミールラウンド及び嗜好調査、季節の料理提供等、安全で美味しい食の提供に努めました。

チームづくり：2度の職員面談やユニットリーダーとの個別面談、諸会議などを積み重ね、業務課題の抽出をし、情報伝達や記録方法のデータ化等、業務全体の改善定着を図りました。服薬ミス、転倒など職員のスキルに起因するミスの根絶を目指し、看護係と共に『服薬マニュアル』の点検と見直し、確認作業の徹底など、事故のない業務遂行を課題に取り組んでいます。また結婚や出産をする職員が増加し、産休後職場復帰する方が殆どの状況下、更に「女性のチカラを活かす企業」として働きやすい職場環境作りが具体的に求められます。

リスクマネジメント：リスクマネジメント委員会をはじめとする委員会設置とその活動は、年々、重要性を増しています。毎月の事故報告やヒヤリハット事例の検討と事前予防のための「フォーユーレポート」をもって、点検と対応に努めました。特に、誤薬・服薬ミスは入居者の健康維

持上重要であることから、看護・介護に加え、嘱託医等の多・他職種との連携によって改善し、発生予防のために服薬マニュアルの再度の作成と研修を実施し、人的ミス防止に努め、減少化しております。

人材採用・育成：介護現場において、重要なことは人材の採用と育成です。面談や日常の指導において、特にリーダー層を中心に面談による課題抽出と配置転換と継続指導を実施し、自覚的取り組みと改善を行ってきました。より良い職場環境の醸成と自主的な職員活動が得られつつあるところですが、ユニットリーダーはじめベテラン職員が自覚的に振る舞うことが課題でもあります。

慢性的な看護職不足は、年度末の複数人の退職によって厳しい状況でもあります。思い切った人事更新策によって、採用と定着が安定し克服することが期待されます。多くの介護施設が職員不足に喘ぐ中、新卒者の採用も順調と言えます。しかしながら全産業に及ぶ労働力不足に対応し、引き続き職員募集を行いながら、研修や介護マニュアルの徹底等によって、よりよい介護人材の獲得と良いケアの実現に努めていきます。

抱優館八乙女各種委員会活動報告

●リスクマネジメント委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、介護支援専門員、生活相談員、機能訓練指導員、管理栄養士、看護師、介護職員

【開催日】

月1回（計12回）

【本年度の取り組み】

フォーユーレポート活用のため「フォーユーレポートグループワーク研修」

⇒ 研修日 平成30年6月11日・24日、7月11日

誤薬事故防止のため「誤薬と服薬時の注意点」「飲み合わせに注意が必要な食べ物」

⇒ 研修日 平成31年1月15日・22日・29日

●感染症予防対策委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、介護支援専門員、生活相談員、機能訓練指導員、管理栄養士、看護師、介護職員

【開催日】

4月19日、5月17日、7月19日、9月20日、11月15日、1月17日、3月14日（計7回）

【本年度の取り組み】

前年度に取り組んだトイレ・入浴等の清掃状況の確認並びに再検討。

食中毒予防の研修（外部委託）。

施設内のゴミの出し方についての取り組み（感染ゴミ・生ゴミ・生活ゴミ・排泄ゴミ）。

委員会でのスタンダードプリコーション（標準予防策）についての勉強会。

インフルエンザ・ノロウイルス（嘔吐物処理方法含む）の研修。

●身体拘束・虐待防止・ケア向上委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、介護支援専門員、生活相談員、機能訓練指導員、管理栄養士、看護師、介護職員

【開催日】

月1回（計12回）

【本年度の取り組み】

- ・抱優館八乙女内での身体拘束のフローチャートや、虐待の報告・連絡・相談の確認を研修の中に盛り込み職員ごとに確認することができた。また、虐待の5つの定義や、身体拘束の3ロックも同じ研修内で確認することができた。
- ・今年も引き続き委員会内で困難事例の検討を行ってきたが、前年度程議題に挙がることは無かった。今後はネットなどの事例等も準備し委員会から施設として知識や気付きの力を付けていく必要があると感じた。
- ・ユニット間移動研修は途中までは計画していたものの、ユニット職員の人数の都合上中止になってしまった。

●栄養管理委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、介護支援専門員、管理栄養士、看護師、介護職員、
（受託先）日清医療食品㈱ エリアマネージャー、管理栄養士、調理師

【開催日】

月1回（計12回）

【本年度の取り組み】

- ・毎月の行事食立案、実施、反省（施設行事含む）
- ・随時の問題点検討
- ・実食（試食会）ムース食、ソフミート、メイバランス
- ・食中毒予防とユニット衛生管理について
- ・嗜好調査実施

●排泄・褥瘡予防委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、生活相談員、管理栄養士、看護師、機能訓練指導員、介護職員

【開催日】

月1回（計12回）

【本年度の取り組み】

- ・オムツ当て勉強会を委員にて研修を行う。

- ・陰洗勉強会を看護師にて研修を行う。
 - ・目標を上半期・下半期、排泄と褥瘡の目標4つに分け取り組みを明確にした。
- 上半期排泄：トイレと言われたら直ぐ誘導する。
- 上半期褥瘡：入浴後は直ぐ保湿する。
- 下半期排泄：便を出す支援を行う。
- 下半期褥瘡：発赤見たらすぐに除圧する。
- ・1日一回の陰洗を各ユニットで行う。
 - ・トイレ内での陰洗時、冷たいタオルでの清拭になっていた為、ポットを寄贈していただけるよう呼びかけを行った。
 - ・褥瘡についての研修を委員会内にて行った。
 - ・委員にて排泄用品の在庫チェックを行い、意識づけを行なった。

●行事企画・広報委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、生活相談員、管理栄養士、看護師、機能訓練指導員、介護職員、総務職員

【開催日】

月1回（計12回）

【本年度の取り組み】

外部団体による催し物の開催・季節行事の実施及び各展示物の実施・クラブ活動運営・
ニューズレターの発行

●安全衛生委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、介護支援専門員、看護師、介護職員、総務職員

【開催日】

月1回（計12回）

【本年度の取り組み】

奇数月は委員会前半の時間を利用し、4S（整理・整頓・清掃・清潔）チェックを実施。定期的にフロア環境の見直しを行った。日用品・オムツ・行事で使用する物品等の保管場所について、これまでバックヤードの使用（物の配置等）の基準が設けられておらず、フロアごとの裁量により決められていた事で無駄な動きが多かった為、業務導線を考慮した配置・保管を行い、作業効率の改善を図った。

●防災対策委員会

【構成メンバー】

施設長（防火管理者）、生活支援課職員、看護師、介護職員、総務職員、

【開催日】

月1回第1火曜日（H30年度 計12回+訓練2回）

【本年度の取り組み】

防災訓練を2回開催。自主訓練ではレスキューシート、車椅子を中心とした避難訓練を実施。
委員会活動としてマニュアルの見直しを行ない、レスキューシートの在庫確認、入居者様の非常時の避難方法の確認、防災グッズ(懐中電灯・ヘルメット)の確認・再購入・再設置等の細かい事を中心に行った。又、レスキューシート・消火栓の使い方や災害時の対応についての研修を実施。

抱優館八乙女各種外部研修・行政等主催研修参加状況

日時	研修名	参加者	主催
H30. 4. 23	平成 30 年度総会	施設長	仙台市老人福祉施設協議会
H30. 6. 7～9	平成 30 年度看護職員認知症対応力向上研修	看護師	宮城県看護協会
H30. 6. 19	基本的な移動生活支援技術について	介護員	仙台市老人福祉施設協議会
H30. 6. 20	平成 30 年度 OJT 指導者研修	介護員	宮城県老人福祉施設協議会
H30. 6. 23	宮城 I C N ネットワーク 平成 30 年度 第 1 回講演会	看護係長	宮城県 I C N ネットワーク
H30. 7. 7	全国地域リハビリテーション合同研修大会 IN みやぎ 2018	施設長	宮城県リハビリテーション支援センター
H30. 7. 11	仙台老人福祉施設協議会 第 1 回職員研修 「基本的な介護技術」	介護員	仙台老人福祉施設協議会
H30. 7. 17	地域連携の集い	施設長 相談支援係長	社会医療法人康陽会
H30. 7. 19	平成 30 年度 仙台市老人福祉施設協議会 生活相談員研修会	相談支援係長	仙台市老人福祉施設協議会
H30. 7. 21	宮城 I C N ネットワーク 平成 30 年度 第 2 回講演会	介護員	宮城県 I C N ネットワーク
H30. 8. 8	平成 30 年度 介護報酬改定(栄養関連)に関する伝達研修会	管理栄養士	公益財団法人宮城県栄養士会
H30. 9. 8	生活の質を高めるアクティビティやレクリエーションを考えよう	介護員	一般社団法人宮城県介護福祉士会
H30. 9. 21	平成 30 年度 城県喀痰吸引等研修 指導者養成講習	看護師	宮城県
H30. 10. 2	介護スキルアップ研修	介護員	公益財団法人仙台市健康福祉事業団
H30. 10. 2	災害時における避難所生活の福祉支援	介護員	東北福祉大学
H30. 10. 14	ニュートリションセミナー	管理栄養士 看護師	ニュートリ

H30. 10. 18	施設栄養士のための情報交換会	管理栄養士	仙台市老人福祉施設協議会
H30. 10. 19	Date Care in 仙台 2018	介護員	仙台市健康福祉局
H30. 11. 15	平成 30 年度 仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業 管理者研修	介護員	仙台市社会福祉協議会
H30. 12. 7	平成 30 年度 仙台市老人福祉施設協議会 災害対策研修	介護員 事務員	仙台市老人福祉施設協議会
H30. 12. 21	平成 30 年度 第 2 回 仙台市老人福祉施設協議会 泉支部会議及び懇親会	施設長 相談支援係長	仙台老人福祉施設協議会
H31. 1. 7	認知症介護実践研修	介護員	公益財団法人仙台市健康福祉事業団
H31. 1. 17	平成 30 年度 仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業 役員研修	施設長	仙台市社会福祉協議会
H31. 1. 23	平成 30 年度 公正採用選考人権啓発推進員等研修会	事務員	宮城労働局
H31. 1. 24	平成 30 年度 社会福祉法人・社会福祉施設事務担当者（労務管理）研修会	事務員	宮城県社会福祉法人経営者協議会
H31. 1. 25	平成 30 年度 仙台市老人福祉施設協議会 研修委員会（多職種）栄養士・看護師情報交換会	管理栄養士 看護師	仙台市老人福祉施設協議会
H31. 1. 25	仙台市個人情報セキュリティ研修	生活支援課長 介護支援係長	仙台市
H31. 1. 29	平成 30 年度 ロボット等介護機器導入モデル事業「見学会」特別養護老人ホームでの見学会	生活支援課長 介護支援係長 介護員	宮城県
H31. 1. 31	第 3 回 仙台市老人福祉施設協議会泉支部 災害訓練	介護員	仙台市老人福祉施設協議会
H31. 2. 1	平成 30 年度 ロボット等介護機器導入モデル事業「見学会」介護老人保健施設での見学会	総務係長 介護員	宮城県
H31. 2. 15	平成 30 年度 給食施設事例発表研修会	管理栄養士	仙台市保健所
H31. 2. 16	平成 30 年度 若年性認知症自立支援研修会	施設長	医療法人清山会

地域密着型特別養護老人ホーム抱優館南光台東 事業報告

主要課題は、抱優館八乙女と重複することから、南光台東の特筆事項に限ります。

- ① 平成 30 年 4 月開所以降、職員の自主的管理意識と責任の醸成につながり、総務係長、生活相談員等に加え、開所を見越して採用された介護支援専門員、看護師、介護業務の経験者と新卒者等が一体となってスムーズな開所・運営体制を整えてきました。新規職員募集・採用の遅れから人員不足もあり、ご入居者の迎え入れも予定より遅滞した状況でしたが、ようやく順調に推移しているところです。
- ② 地域密着型サービス事業所に義務付けられている「運営推進会議」を 6 回開催し、南光台東部連合町内会長、民生児童委員、老人クラブ会長、南光台地域包括支援センター、パインツリー南光台、ご入居者・ご家族等の地域の方々のご意見を伺い、また地域ニーズに基づく南光台東の社会的役割について提言を頂く中、事業を進めました。
- ③ 南光台地域包括支援センター、多機能居宅介護・サービス付き高齢者住宅パインツリー南光台と共催し、地域交流スペースを使った高齢者地域サロンを 4 回開催し、近隣の方のつながりに努めました。
- ④ 「やまとみらいにぎわい食堂」を 4 回開催し、近隣の子供との楽しいひと時を作っています。

平成 30 年度の利用実績

[入居者の要介護度別年齢]

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均
男性	—	—	91.64 歳	64.51 歳	64.71 歳	78.14 歳
女性	—	—	87.42 歳	86.79 歳	82.93 歳	86.26 歳
合計	—	—	88.58 歳	83.32 歳	79.26 歳	84.49 歳

[地域密着型特別養護老人ホーム抱優館南光台東利用実績] 全 29 室

・平均入居者 22.6 人 稼働率 77.9%

月	平均入居者数	稼働率	月	平均入居者数	稼働率
4 月	6.5 人	22.5%	10 月	26.5 人	91.4%
5 月	14.8 人	51.2%	11 月	26.8 人	92.4%
6 月	18.6 人	64.1%	12 月	27.2 人	93.7%
7 月	21.6 人	74.5%	1 月	27.1 人	93.5%
8 月	23.8 人	82.0%	2 月	27.5 人	94.8%
9 月	23.4 人	80.8%	3 月	27.9 人	96.3%

〔介護予防〕短期入所生活介護抱優館南光台東利用実績 全10室

・平均月延べ利用者数 227.1人 稼働率 74.7%

月	延べ利用者数	稼働率	月	延べ利用者数	稼働率
4月	117人	39.0%	10月	226人	72.9%
5月	241人	77.7%	11月	251人	83.7%
6月	186人	62.0%	12月	254人	81.9%
7月	211人	68.1%	1月	283人	91.3%
8月	224人	72.3%	2月	257人	91.8%
9月	206人	68.7%	3月	269人	86.8%

抱優館南光台東各種委員会活動報告

●リスクマネジメント委員会

【構成メンバー】

施設長、相談支援係長、介護支援係長、管理栄養士、看護師、介護員、生活相談員、介護職員

【開催日】

計10回 (5月17日 6月21日 7月23日 8月17日 9月20日 10月18日 11月21日
1月17日 2月21日 3月21日)

【本年度の取り組み】

《前期目標》

- ・入居者様の安心・安全に配慮した環境作り
- ・介護職員のリスクマネジメントに対する認識を高める仕組み作り

《後期目標》

- ・利用者様の安全面と快適性のバランスに配慮した環境作り
- ・介護職員のリスクマネジメントに対する認識を高める仕組み作り

初年度ということで、環境整備や介護職員に対する認識を高めることに重点を置いて活動してきた。

研修は経験の少ない職員もわかりやすいようにと内容を検討し、1回目は「ヒヤリハットと事故の違い」
2回目は「介護におけるリスクマネジメント」について行った。

研修日 《1回目》 7月25日 7月31日 《2回目》 1月14日 1月21日

●感染症予防対策委員会

【構成メンバー】

施設長、相談支援係長、介護支援係長、管理栄養士、看護係長、介護職員

【開催日】

7月、10月、1月に開催

【本年度の取り組み】

- ・感染だよりの発行（7月、10月、1月）
- ・写真を用いたわかりやすい各種手順ポスター
（うがい方法、マスクの着脱方法、嘔吐物処理方法、ディスポエプロンの着脱方法）
- ・ハンドソープ、アルコールを自動噴霧式に変更

●身体拘束・虐待防止・ケア向上委員会

【構成メンバー】

相談支援係長、介護支援係長、介護職員

【開催日】

4月24日 7月17日 10月20日 1月15日

【本年度の取り組み】

- ・身体拘束とはどのような行為か、身体拘束の種類スリーロックとはないか、身体拘束を行わない5つの基本的ケアとはないか等研修を確認ができた。
- ・研修の中の重点的にスピーチロック（言葉による拘束）とはないか
- ・センサーは拘束になるのかを事例を出していただき研修を行った。

●栄養管理委員会

【構成メンバー】

相談支援係長、介護支援係長、管理栄養士、看護係長、介護職員
(受託業者) 日清医療食品 梅津エリアマネージャー、調理師

【開催日】

11回（4月のみ実施しておりません）

【本年度の取り組み】

- ・毎月の行事(食事提供分)立案、実施、反省
- ・食中毒、ユニット衛生管理（清潔保持）についての研修実施
- ・食事配膳の入居者様に対する配慮について
- ・ソフト食の在り方について
- ・嗜好調査の実施、給食へ反映（適温調理等）
- ・ユニットからの要望、意見交換

●排泄・褥瘡予防委員会

【構成メンバー】

相談支援係長、介護支援係長、管理栄養士、看護師、介護職員

【開催日】

月1回（H30年度 計12回）

【本年度の取り組み】

◎排泄

- ・オムツ・パッドの在庫確認と発注の周知徹底
- ・排泄パターン表の作成
- ・毎日のアウター交換
- ・漏れが多い場合の尿量測定とユニチャーム様からベッドサイドでのアドバイス
- ・皮膚トラブルの防止（モレが少なく、サイズの合うものの選定、早めの処置）

- ・研修（ユニチャーム様よりオムツ、パッドの正しい選び方と当て方）11/20, 12/4

●行事企画・広報委員会

【構成メンバー】

相談支援係長、介護支援係長、総務係長、看護師、介護職員

【開催日】

月1回（H30年度 計12回）

【本年度の取り組み】

抱優館南光台東が開所して初めての委員会であり、手探り状態ながらも年間を通して様々な行事を取り行ってきました。

企画立案については、抱優館八乙女で行ってきた行事や他施設で行っていた行事等を参考にしたり、また、外部団体を招いて催し物を開催したり、入居者様、利用者様のご家族を含め楽しんで頂けました。

医務の協力の下、お餅の提供も行いましたが、大きなトラブルもなく遂行出来たと感じています。

●防災対策委員会

【構成メンバー】

総務係長（防火管理者）、介護支援専門員、生活相談員、管理栄養士、看護師、介護職員

【開催日】

月1回第1火曜日（H30年度 計3回+訓練1回）

【本年度の取り組み】

- ・開所初年度ということもあり、消防署立会いの下、日中想定での訓練を実施。
- ・火気自主点検票の整備
- ・避難ルートの確認や消防設備、消火設備の使用方法の確認

抱優館南光台東各種外部研修・行政等主催研修参加状況

日時	研修名	参加者	主催
4月～	介護職員初任者研修	介護職員（4名）	ジョブカレッジ仙台
8月～	ユニットリーダー研修	介護職員	一般財団法人日本ユニットケア推進センター
10/12	国際福祉機器展	介護職員	全国社会福祉協議会
11/15	平成30年度 仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業 管理者研修	介護職員	仙台市社会福祉協議会
12/6	年末調整セミナー	総務職員	スクラムマネジメント
1/25	仙台市個人情報セキュリティ研修	介護支援専門員	仙台市
3/5	ユニットケア研修フォーラム2018	管理栄養士	一般財団法人日本ユニットケア推進センター

ケアプランセンター抱優 事業実績報告

事業開始 3 年目、毎月新規の利用者を獲得はしているものの、施設にご入居されたり、お亡くなりになる等で終結となる利用者も多く、年度当初に目標としていた利用者数には及ばない結果となった。そのため、収支としては、厳しい 1 年となってしまった。

事業所の収支構造を見ると、収入としては上限があり、支出は人件費が主であり、収入と支出のバランスを図ることが重要である。そのため、収支の安定を図るには事業所の法人内での位置づけ及び、今後の事業展開を見据えての人員配置の検討が必要と考える。この点については、今年度の課題として、法人本部とも協議していきたい。

今年度の実績は以下のとおりである。地域包括支援センターや病院とさまざまな機会を通じて、連携を深める取組みの結果、ほぼ毎月新規利用者の獲得となり、年間 51 名の新規の利用者と関わってきた。ただ、前述したように、終結となる利用者も多く、目標とした利用者数には届かなかったのは、結果としては残念であるが、多くの利用者の紹介をいただいたことは事業所として大いに評価していいのではないだろうか。今後も、関係各機関との連携を深め、新規利用者の紹介を受けていくと共に、できるだけ長く安心して在宅で生活が継続できるケアマネジメントを実践していきます。

	要介護 1	2	3	4	5	合計	要支援	担当	新規
4 月	26	9	8	4	1	48	17	65	4
5 月	25	10	10	4	0	49	18	67	6
6 月	27	12	10	4	1	54	18	69	7
7 月	27	14	10	4	2	57	19	76	4
8 月	28	14	7	3	4	56	18	74	4
9 月	32	14	6	2	4	58	17	75	3
10 月	35	16	6	3	3	63	17	80	9
11 月	35	14	6	4	3	62	16	78	2
12 月	37	15	8	4	2	66	15	81	3
1 月	36	15	6	5	3	65	14	79	4
2 月	37	14	6	4	2	63	14	77	5
3 月	36	14	6	4	1	63	14	77	0

会議・研修等受講報告

受講月日	研修名	実施主体
4 月 7 日	八乙女包括ケアマネサロン	八乙女地域包括支援センター
4 月 20 日	ヤオトメンズ	八乙女地域包括支援センター
5 月 18 日	ヤオトメンズ	八乙女地域包括支援センター

5月23日	八乙女包括ケア会議	八乙女地域包括支援センター
5月23日	鶴ケ谷地域包括事例検討会	鶴ケ谷地域包括支援センター
5月30日	八乙女地域ネットワーク会議	八乙女地域包括支援センター
6月1日	なないろカフェ	虹の丘地域包括支援センター
6月12日	第1回居宅介護支援専門員研修会	仙台市役所
6月12日	仙台市集団指導	仙台市
6月15日	ヤオトメンズ	八乙女地域包括支援センター
6月19日	ケアマネサロン	八乙女地域包括支援センター
6月20日	鶴ケ谷地域包括事例検討会	鶴ケ谷地域包括支援センター
7月5日	第1回担当圏域介護支援専門員学習会	南中山地域包括支援センター
7月12日	双葉ヶ丘地域包括ケアマネ交流会	双葉ヶ丘地域包括支援センター
7月13日	仙台市第2回介護支援専門員研修会	仙台市
7月18日	鶴ケ谷地域包括事例検討会	鶴ケ谷市域包括支援センター
7月21日	なないろカフェ	虹の丘地域包括支援センター
7月26日	南光台地域包括支援センター研修会	南光台地域包括支援センター
8月3日	ケアマネージャー研修会	泉区地域包括支援センター定例会
8月17日	ヤオトメンズ	八乙女地域包括支援センター
8月21日	ケアマネサロン	八乙女地域包括支援センター
8月22日	鶴ケ谷地域包括事例検討会	鶴ケ谷市域包括支援センター
8月28日	八乙女包括ネットワーク会議	八乙女地域包括支援センター
9月11日	第2回指定居宅介護支援専門員研修会	仙台市
9月14日	ケアマネージャー交流会	南光台地域包括支援センター
9月19日	鶴ケ谷地域包括事例検討会	鶴ケ谷市域包括支援センター
10月5日	なないろカフェ	虹の丘地域包括支援センター
10月16日	ケアマネサロン	八乙女地域包括支援センター
10月17日	鶴ケ谷地域包括事例検討会	鶴ケ谷市域包括支援センター
11月2日	平成30年度ケアマネジメント研修会	仙台市
11月11日	八乙女健康祭り	八乙女地域包括支援センター
11月21日	鶴ケ谷地域包括事例検討会	鶴ケ谷市域包括支援センター
11月27日	八乙女地域包括ケア会議	八乙女地域包括支援センター
12月19日	鶴ケ谷地域包括事例検討会	鶴ケ谷市域包括支援センター
1月16日	鶴ケ谷地域包括事例検討会	鶴ケ谷市域包括支援センター
2月13日	第4回指定居宅介護支援事業研修会	仙台市
2月14日	青葉区北ブロック研修	双葉ヶ丘地域包括支援センター

2月15日	ヤオトメンズ	八乙女地域包括支援センター
2月20日	南中山包括ネットワーク会議	南中山地域包括支援センター
2月20日	第4回八乙女地域包括圏域ケア会議	八乙女地域包括支援センター
2月20日	鶴ヶ谷地域包括事例検討会	鶴ヶ谷市域包括支援センター
3月12日	虹の丘包括 民生委員交流会	虹の丘地域包括支援センター
3月16日	ヤオトメンズ	八乙女地域包括支援センター
3月20日	2018年事業報告会	鶴ヶ谷市域包括支援センター
3月20日	鶴ヶ谷地域包括事例検討会	鶴ヶ谷市域包括支援センター

やまとみらい八乙女保育園 事業実績報告

平成30年度は0歳児4名、1歳児7名、2歳児7名、計18名の定員を割るスタートとなり、さらに6月中旬に2歳児1名が退園し、2歳児に2名の空きが生じました。泉区全体でも2歳児の待機児童数が少ない傾向から、短期間での2歳児2名の獲得が厳しい状況を踏まえ、定員をスライドし0歳児5名、1歳児7名、2歳児6名、計18名に定員変更を行いました。すぐに0歳児1名の入園が決まり定員を満たす比較的安定した運営となりました。

保育においては、保育体制を二人担任から三人担当に改めたことで、子どもたちの成長を複数の視点から捉えながら話し合い、個々に応じたより良い保育の提供を全職員が意識し実践に取り組みました。少しずつであるが子ども主体の保育を実践してこられたように感じます。「子どもの最善の利益」を考え、個人個人の現状を考慮し環境（人的・物的）を考えながら展開したことで、大きな事故や怪我、感染症の拡大等がなく一年を終えることができました。

平成30年度は、近隣の幼保含め3園と連携を結びました。卒園後の進路に不安を抱く保護者も多く、確実に入所できる連携枠を卒園児数分確保するよう取り組んでいきます。

【やまとみらい八乙女保育園利用実績】 定員 18名

月	入園児数			退園児数			合計
	0歳児	1歳児	2歳児	0歳児	1歳児	2歳児	
4月	4	7	7	0	0	0	18名
5月	4	7	7	0	0	0	18名
6月	4	7	6	0	0	1	17名
7月	5	7	6	0	0	0	18名
8月	5	7	6	0	0	0	18名
9月	5	7	6	0	0	0	18名
10月	5	7	6	0	0	0	18名
11月	5	7	6	0	0	0	18名
12月	5	7	6	0	0	0	18名
1月	5	7	6	0	0	0	18名
2月	5	7	6	0	1	0	18名
3月	5	7	6	0	0	0	18名

【各種会議開催状況】

保育園全体の連携や各職種連携のため次の会議を開催し、業務の改善を図った。

会議名	議題	開催日	構成メンバー
管理者会議	現状報告、情報連絡、 課題提起・検討、収支 報告	4/9、5/11、6/8、7/6、8/10、 9/7、10/19、11/12、 12/13、1/11、2/8、3/8、	理事長、事務局長、 総務課長、総務係 長、各事業管理者

職員会議	保育・給食状況報告、 行事反省、次月予定、 課題提起・検討、情報・ 意識の共有	4/2、5/2、6/8、7/2、7/31、 9/11、10/2、10/20、12/4、 1/7、2/5、3/5、3/23	園長、保育士、保 育従事者、栄養士、 調理員
給食会議	現状報告、情報連絡、 課題提起・検討	4/20、5/22、6/22、7/9、 8/9、9/3、10/9、11/16 12/11、1/17、3/12	園長、栄養士、調 理員

【各種外部会議・行政主催研修参加状況】

保育のスキルアップや情報交換、小規模保育制度の理解を深めるため、以下の研修等に参加した。

開催日	名称	参加者	主催者
5/30	施設長研修	園長	仙台市子供未来局
6/12	リーダー的保育士研修	保育士	仙台市子供未来局
6/11	1.2歳児研修	保育士	仙台市子供未来局
6/26	乳児保育研修	保育士	仙台市子供未来局
7/18	発達障害の基礎とアーチルの役割	保育士	宮城県保育協議会
7/19	乳児保育研修	保育士	仙台市子供未来局
7/24	栄養士研修	栄養士	仙台市子供未来局
8/30	子育て支援関係機関連絡会	保育士	仙台市子供未来局
9/4.5.1 3	キャリアアップ研修（幼児教育）	保育士	宮城県社会福祉協議会
9/26	キャリアアップ研修（障害児保育）	保育士	宮城県社会福祉協議会
10/16	公開保育	保育士	仙台市子供未来局
10/31	所長研修	保育士	仙台市子供未来局
10/29 11/5	キャリアアップ研修（食育・アレル ギー）	栄養士	宮城県社会福祉協議会
11/17	保育士研修	保育士	宮城県保育協議会
11/17	中堅保育士研修	保育士	宮城県保育協議会
12/17	保育士研修会	保育士	宮城県保育協議会
12/25	中堅保育士研修	保育士	宮城県保育協議会
3/26	赤十字研修	全職員	赤十字

就労移行支援事業所オルタ八乙女 事業実績報告書

オルタ八乙女は、就労移行支援事業所としてスタートをきり3年になります。

平成30年度は、これまでの取り組みを振り返りつつ、「業務分担」「カリキュラム」「会議のもちかた」「ケース検討の方法」「各種書類作成と手続き」等、幅広く職員間で再検討を行い、より良い事業運営にむけ職員個々の強みを活かした役割分担、業務の効率化や職員の支援力アップにつなげるための工夫を重ねることができた1年でした。

訓練カリキュラムについても企業様とのつながりが着実に増え、利用者個々の興味と適性に応じて体験できる機会が確実に広がっております。

これまでの土台作りの成果も徐々に表れ、一日の利用人数も概ね安定した数字を保てるようになりました。さらに、就職者についても状況に応じたサポートを継続。今年度は、一般企業への就職者は5名、離職者はなく職場定着率は100%となっております。

平成31年度も、ご利用の方の増加と就労実績に繋げ、成果を出すことをもって、健全且つ自立的な安定運営と財務基盤の向上を目指してまいります。

[オルタ八乙女利用実績]定員20名

	契約者数	1日平均利用人数	就職者数	離職者数
4月	16	11.9	1	0
5月	18	13.4	0	0
6月	20	14.2	0	0
7月	17	12.1	1	0
8月	17	10.2	1	0
9月	17	11.3	1	0
10月	23	12.9	0	0
11月	19	13.5	0	0
12月	19	13.1	1	0
1月	15	11.8	0	0
2月	15	12.3	0	0
3月	17		0	0

[各種会議開催状況]

外部会議・研修

	研修内容	主催
5/18	平成30年度春季精神保健福祉援助実習連絡会	東北福祉大学国見キャンパス
5/22	平成30年度精神保健福祉基礎講座（初任者研修）	はあとぼーと
5/31	平成30年度富谷市・黒川地域自立支援協議会実務者	富谷市・黒川地域自立支援協議会

	会議	
6/15	社会生活支援特別加算に伴う研修会	特定非営利活動法人ワンファミリー ー仙台
6/28	アーチル発達障害基礎講座	北部アーチル
7/5	第1回就労移行支援事業所等連絡会議	仙台市障害者就労支援センター
7/9	精神・発達障害者の就労定着支援システム「SPIS」 実践講座 in 仙台～当事者のセルフ・コントロールと 職場の対話活性化のために～	NPO 法人全国精神保健職親会／ア デコ(株)
7/10	医療機関における就労支援～原クリニックの就労支 援の現状～	精神保健福祉連合会
8/3	平成30年度就労移行支援事業所機能強化事業 全域 優良事例共有会議	アデコ(株)
8/7	成人施設中堅者研修②	南部アーチル
8/27	平成30年度宮城県障害者福祉施設職員研修	宮城県社会福祉協議会
9/18	平成30年度就労移行支援事業所機能強化事業 定着 支援事業理解促進セミナー	宮城県障害福祉課
9/19～21	平成30年度第2期就業支援基礎研修	宮城障害者職業センター
10/22	第2回就労移行支援事業所等連絡会議	仙台市障害者就労支援センター
10/29	就労支援と精神科医療の情報共有ツールの必要性和 ツール活用の演習研修会	宮城障害者職業センター
11/22	南光台包括圏域会議	南光台地域包括支援センター
11/29	就労支援と精神科医療の情報共有・連携とツールの 活用	宮城障害者職業センター
12/12	キャリアスキルアップ研修	アデコ(株)
12/18	発達障害者基礎講座	南部アーチル
H31. 1. 25	平成30年度宮城県医療観察制度研修会	仙台保護観察所
2. 6	精神保健福祉基礎講座後期	はあとぼーと
2. 13	アセスメントの目的から支援計画の策定まで	宮城障害者職業センター
2. 21	精神保健福祉ボランティア団体講座	仙台市精神保健福祉団体連絡協議 会

所内研修

	研修内容	出席者
6/13	防災研修	職員全員
6/20	安全運転研修	職員全員
8/22	事故・防災対応研修	職員全員
8/22	体調・衛生管理研修	職員全員

外部企画行事

	企 画	主 催
7/12	障害者就労支援機関 EXPO「就労支援機関による事業所向け情報交換会」	宮城労働局
9/7	仙台市障害福祉事業所合同説明会	仙台市障害福祉事業所合同説明会実行委員会
9/28	ふれあいワークフェア	宮城労働局

内部会議

会議名	議 題	開催日	構成メンバー
ケース共有	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練状況、利用者の情報共有および対応の検討 ・ 業務連絡、翌日の予定の確認 	毎日 17:30～18:00	全職員
ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラム内容の調整、運営、役割分担、日程調整 ・ 支援方法、情報、意識の摺合せ 	毎週（水） 15:00～17:00	全職員
職員会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当月（翌月）の予定 ・ 計画に対する進捗の摺合せおよび課題検討 	毎週（水） 15:00～18:00	全職員